

# 時間を作りだす時代～進化し続ける時間市場～

立教池袋高等学校 数理研究同好会

チーム ID SL600077

リーダー 高校 1 年 八藤 磨生

高校 1 年 上野 大樹

高校 1 年 中川 達矢

指導教諭 内田 芳宏

## 1. 選んだ銘柄

銘柄	コード	市場	投資金額 (円)
日本マクドナルドホールディングス	2702	JASDAQ	97,920
日清食品	2897	東証 1 部	145,640
セブン&アイ・ホールディングス	3382	東証 1 部	168,000
ぴあ	4337	東証 1 部	98,100
ヤフー	4689	東証 1 部	87,000
カルチュア・コンビニエンス・クラブ	4756	東証 1 部	197,370
理想科学工業	6413	JASDAQ	97,680
ムサシ	7521	JASDAQ	316,660
シチズン時計	7762	東証 1 部	98,010
三菱 UFJ フィナンシャルグループ	8306	東証 1 部	604,000
東日本旅客鉄道	9020	東証 1 部	301,600
ヤマトホールディングス	9064	東証 1 部	889,536
全日本空輸	9202	東証 1 部	168,000
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	9437	東証 1 部	94,000
東レ	3402	東証 1 部	336,200
エスエス製薬	4537	東証 1 部	404,982
ダイキン工業	6367	東証 1 部	136,920
バンダイナムコホールディングス	7832	東証 1 部	98,010
東京ドーム	9681	東証 1 部	276,966
近畿日本ツーリスト	9726	東証 1 部	197,500
全 20 銘柄		投資金額合計	4,814,094

## 2.はじめに

今回のストックリーグでは、「時間」をポートフォリオの作成においてのテーマとし、「時間」と「経済」の関係について考察していくことにした。

### ・「時間」を選んだ理由

今年度、自分たちは高校生になり、日々の生活に大きな変化が表れてきた。昨年度に比べると格段に忙しくなり、「時間」というものがとても貴重なものとなっていった。そういった意識は、日常の行動の中にも表れ、例えば、交通機関を利用するときには、値段よりも移動時間を利用するようになり、インターネットショッピングなどを利用する機会も増えた。そういった中で、「時間」を商品としたサービスや企業もたくさん目にし、時間というものの大切さを深く実感した。

また、社会全体のみで見ても、現代人の生活はいつそう忙しいものになっており、多くの人が時間管理に敏感になっているのではないかと思う。そういったことから、今回のストックリーグでは、この時間に注目したテーマでポートフォリオの作成をしていくことにした。

### ・2つの時間

このテーマを決定した時点には、時間を「短縮する」という観点での時間しか見ていなかったが、その後、時間について色々調べていくうちに、「短縮する」という時間以外にも、「ゆとりのある」時間というものにも、経済的な商品価値を見出すことができるのではないかと気付いた。そこで、はじめに考えてきた、「短縮する」という観点の他に、時間に「ゆとりを持つ」といった観点も含め、ポートフォリオの作成を行っていくことにした。また、そこからさらに発展させ、日常や将来の**生活の質を高める**というサービスも、この時間市場に含まれているのではないかと考えた。そこで、これらの**時間に「ゆとりを持つ」**や、**生活の質を高める**という観点からは、銘柄一覧・東レ以降の6銘柄(P.1参照)を選んだ。

## 3.文化祭でのアンケート集計

現代人の時間意識を知るために、11月2日・3日に行われた、立教池袋中学校・高等学校の文化祭で、我々のクラブ活動の株式展示を見てくださったお客様を対象に、時間意識に対するアンケート調査を行った。アンケートは、年齢、性別以外に、以下の4項目を集計した。

Q1	<b>あなたは、日々の生活で、時間が足りないと感じていますか？</b>
回答方式	はい/いいえ の2択
集計目的	現代人の忙しさ・時間のニーズの調査

Q2	<b>あなたは普段、上手く時間管理ができていますか？</b>
回答方式	上手く管理できている/まあまあ管理できている 上手く管理できていない/あまり意識していない の4択
集計目的	現代人の時間管理への意識・達成度の調査

Q3	<b>あなたが時間管理に利用している企業(商品、サービス)などがありましたら、記入してください。</b>
回答方式	自由記述
集計目的	ポートフォリオ作成の参考のため

Q4	<b>もし時間を買えるとしたら、1時間いくらで買いますか？</b>
回答方式	金額を記入
集計目的	現代人の時間価値・一般的なサービスとの釣り合いの調査

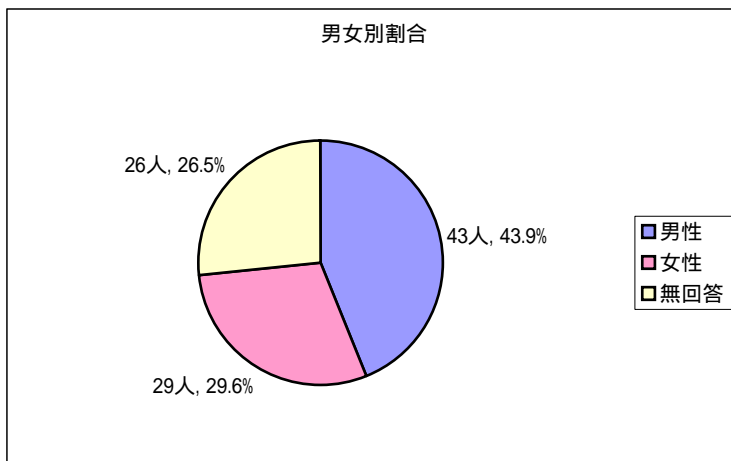
## ・アンケート結果

アンケートを集計した結果、回答者数は 98 人となり、以下のようなデータを得ることができた。

まず始めに、集計した人数を男女別に分けると、グラフ 1 のような結果になった。

男性の方が女性よりもやや多い結果となったため、少し結果にかたよりが予想される。

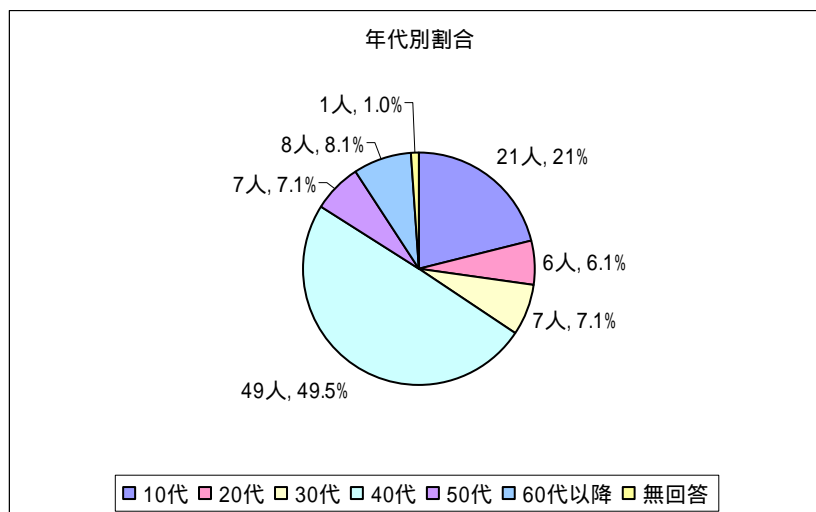
また、無回答が多かった要因としては、ややアンケートの項目に改善点があったためだと思われるので、次回からはその結果をふまえてアンケート用紙の作成を行いたい。



グラフ 1 回答者男女別割合

次に、年代別に分けてみると、グラフ 2 のような結果となった。

学校の文化祭でアンケートの集計を行ったため、学生世代である 10 代と、親の世代である 40 代に集中してしまったので、そういったことをふまえて各質問への結果を考察する。

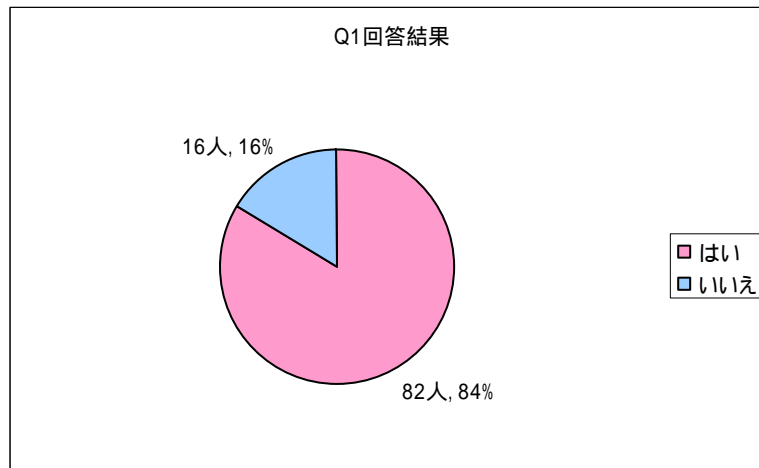


グラフ 2 回答者年代別割合

### ・Q1 回答結果

Q1 の質問に対しては、グラフ 3 のような結果となった。この結果から分かるように、8 割を超える人が、時間が足りないと感じているということが分かった。

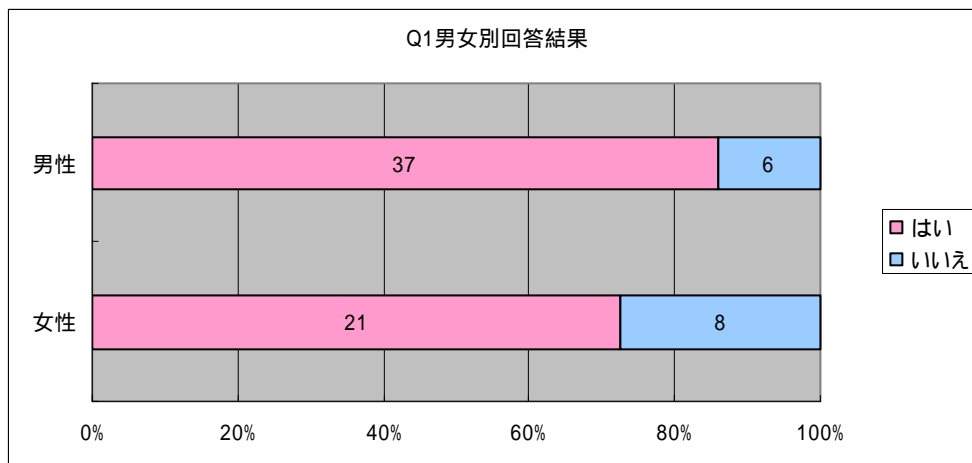
この結果から、現代人の多くは生活に余裕を持っておらず、時間のニーズも高いということが読み取れる。



グラフ 3 Q1 回答結果 時間の意識について

また、Q1 の結果を男女別に分けてみると、グラフ 4 のような結果となる。

この結果を見てみると、女性よりも男性の方が時間へのニーズは高いということが分かり、ビジネスマンなどへの時間サービスの展開がより有効であると考えられる。

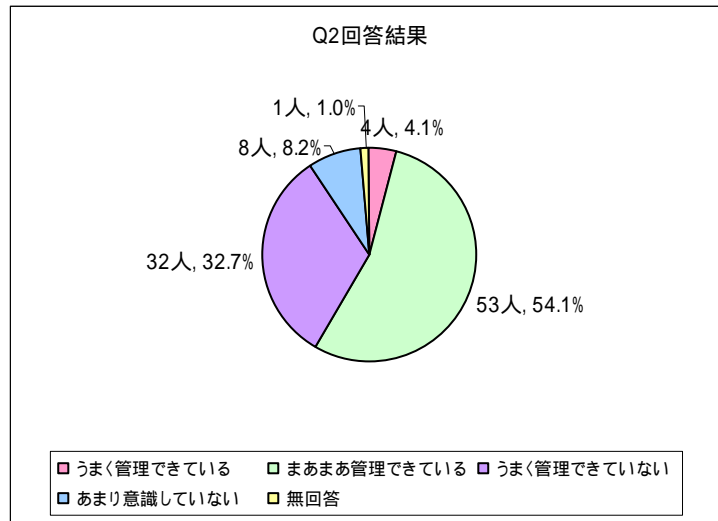


グラフ 4 Q1 男女別回答結果

### ・Q2 回答結果

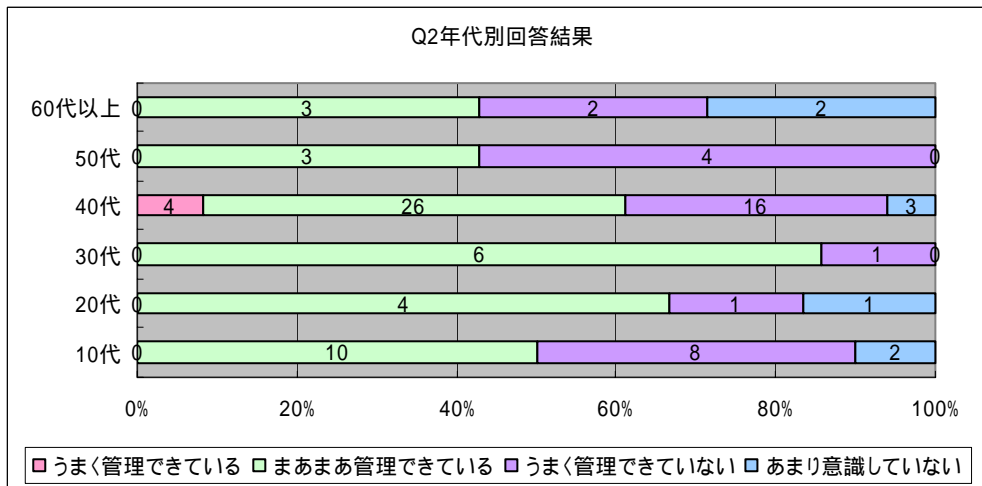
Q2 の質問に対しては、グラフ 5 のような結果となり、あまり意識していないと答えて人は 8.2%に留まったことから、9 割を超える人が、時間管理に対して意識を持っているということが分かった。

さらに、その中でもうまく管理ができていると答えた人は少なく、時間管理に対して意識は持っているものの、実際はその時間管理に不満を持っている人が多いということも分かった。



グラフ5 Q2 回答結果 時間管理について

また、Q2の結果を年代別に分けて分析してみると、グラフ6のような結果となった。集計人数が少ないため、しっかりとした分析結果は出なかったが、60代以上になると、時間管理をあまり意識していないという人の割合が増えた。



グラフ6 Q2 年代別回答結果

・Q3 回答結果

Q3の質問を行った結果、以下のような回答があった。

その中で、特にポートフォリオ選考の際に参考にした回答を太字で示した。

分野での回答	<b>時計、PC、食料品宅配サービス、パワーエッグ、24時間営業の店、携帯、outlook、株式自動配信サービス、デパ地下、通販、コンビニ、ネットバンキング、PIS、冷凍食品、洗濯機、自動車、ノーツ、手帳、ハウスクリーニング、食品・本などの宅配、乗り換え案内</b>
企業での回答	<b>ヤフー、NTTドコモ、マイクロソフト、SHARP、ヤマト運輸、マクドナルド</b>

・Q4 回答結果

Q4 の質問に対して回答をまとめると、以下のようになった。

価格平均	2290.5 円
最低金額	0 円
最高金額	100 万円（突出しているため、平均値には含んでいない）

時間の価値を、値段に置きかえて集計してみた結果、予想以上に時間価値が高いことが分かった。この結果を使って、後ほど実際のサービスとの釣り合いを見ていきたいと思う。（4.東日本旅客鉄道選考理由にて）

・アンケート結果考察

以上のように、現代人は日々の生活の中で、自分たちの予想以上に時間が足りないと感じており、また時間管理にも不満を持っているということが分かった。また、Q3 の実際の企業名やサービス名を挙げて下さいという質問に対して、予想以上に名前が挙がったことから、すでに時間を商品としたサービスを様々な人が利用しているということがわかる。

さらに、Q3 からは、予想していなかったサービス名や、企業名がえられたため、アンケートを集計した後も、もう一度ポートフォリオを組みなおし、そういった結果を反映させた。

以上のことより、結論としては、多くの人々が時間に対しての意識を持っており、現代の経済市場において、時間短縮を目的としたサービスの市場は十分に成立が可能であるといえる。

4. 各銘柄選考理由・投資金額について

ポートフォリオの 20 銘柄以外にも、いくつかの銘柄が候補にあがった。銘柄決定理由の他に、そういった銘柄がなぜポートフォリオに入らなかったのか？ということも書いておきたい。

このポートフォリオを決定する際には、なるべく同じような業種の銘柄が入らないようにし、また、企業の安定性にも注目して、ポートフォリオの決定を行った。

さらに、投資金額の決定にあたっては、それぞれの銘柄の単元株数×株式単価を計算し、実質最低購入金額を算出し、そこから、合計金額が 500 万円になるように比率を合わせた上で、購入金額を計算した。そこから、実際の株式チャートや、企業状況を考え、微妙な調整を行ってから最終購入金額の設定をした。これによって、全ての銘柄のリスクを等しくすることが可能となっている。

これらの計算結果などを、以下の表に示す。

コード	銘柄	単元株数	29日単価	最低購入金額	500万にあわせた比率	最終購入金額(万円)
2702	マクドナルドホールディングス	100	2035	203500	92261	10
2897	日清食品	100	3300	330000	149612	15
3382	セブン&アイ・ホールディングス	100	4220	422000	191322	17
4337	びあ	100	2180	218000	98835	10
4689	ヤフー	1	147000	147000	66646	10
4756	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	100	4480	448000	203110	20
6413	理想科学工業	100	2140	214000	97021	10
7521	ムサシ	500	1414	707000	320533	32
7762	シチズン時計	100	989	98900	44838	10
8306	三菱UFJフィナンシャルグループ	1	1550000	1550000	702725	70
9020	JR東日本	1	762000	762000	345469	32
9064	ヤマトホールディングス	1000	1993	1993000	903568	90
9202	全日本空輸	1000	396	396000	179535	17
9437	NTTドコモ	1	191000	191000	86594	10
3402	東レ	1000	800	800000	362697	34
4537	エスエス製薬	1000	903	903000	409394	41
6367	ダイキン工業	100	3350	335000	151879	14
7832	パンダダイナムコホールディングス	100	1791	179100	81199	10
9681	東京ドーム	1000	628	628000	284717	28
9726	近畿日本ツーリスト	1000	503	503000	228046	20
	計			11028500	5000000	500

これより先は、各銘柄選考理由を記述する。

#### 【時間を短縮するために】

##### ・日本マクドナルドホールディングス（2702）

アンケート結果より選考。ファーストフードの中でも、特に「商品の出てくる時間が早い」という評価があり、朝食や昼食での時間の短縮に広く活用されている。また、朝マックなどのサービスも展開し、朝食を作る時間のないビジネスマンなどに利用されている。一般では、時間がかからず、なおかつ安いというイメージが定着しているため選考した。

また、同じ飲食関連の銘柄で、24時間営業のファミリーレストランの中でも唯一全国展開をしているすかいらーくも候補としてあがったが、全体的に見ると食品関連の銘柄が多くなってしまい、株価もやや安定していなかったため、すかいらーくをポートフォリオから外し、大企業で安定性のある日本マクドナルドホールディングスを入れた。

##### ・日清食品（2897）

手軽に、短時間で調理することができる即席麺の最大手である。チキンラーメンや、カップヌードルなど、即席麺の定番を販売している。

日本だけでなく、海外へも進出しているため、ブランド力も非常に強く、安定性も高いといえる。

##### ・セブン&アイ・ホールディングス（3382）

アンケート結果より選考。24時間営業のため、いつでも利用でき、なおかつ比較的近いところにあり、様々な物を手に入れることができるということから、時間短縮や時間管理に広く利用されている。また、指定した本が受け取れるサービスや、食料品が配達されるセブン・ミールサービスなど、時間短縮に有効的なサービスを展開している。また、最近では西武グループとも事業提携を行い、今後の拡張もさらに期待できる。

##### ・ぴあ（4337）

インターネット上でチケットの購入ができるサービスを行っている。また、電子チケットのサービスも主流となっており、レジャー、エンターテイメントなどの利用を、よりスムーズなものとするができる。

##### ・ヤフー（4689）

アンケート結果より選考。インターネットショッピングやオークション・乗り換え案内など、その他にも様々なサービスを展開しており、インターネット市場では大きな存在となっている。

また、同業種の銘柄としてイー・アクセス、楽天も候補としてあがったが、イー・アクセスはやや株価が安定しておらず、楽天も日本最大のインターネットショッピングを行っている企業ではあるが、ポータルサイトとして様々な分野に取り組んでおり、利便性に非常に富んでいるヤフーを選考した。

##### ・カルチュア・コンビニエンス・クラブ（4756）

フランチャイズ展開しているTSUTAYAにおいて、TSUTAYA各店に行かなくても、自宅にいながら郵便を利用してCD・DVDのレンタルサービスを利用することができる新サービスを開始。

自分たちも、普段 TSUTAYA のレンタルサービスを頻繁に利用しており、いままでの店舗に返しに行くという時間を短縮することができるサービスに非常に便利さを感じた。

#### ・理想科学工業 (6413)

世界最速のレーザプリンタ「ORPHIS」を開発。

現在最新のバージョンであるオフィス用カラープリンタ、ORPHIS HC5500 では、A4 フルカラー片面印刷で、**毎分 120 枚**という、2005 年 10 月現在オフィス用カラープリンタにおいて世界最速の速度を持っている。(理想科学工業調べ) コストは、カラー 2.5 円 / 枚で、基本システム構築価格 340 万円と、若干高めではあるが、それに見合うだけの印刷速度を持っていると思う。

同業種としてリコーもあがったが、印刷速度など、技術的な面を見ると理想科学工業の方が優れており、今回のケースでは理想科学工業の専門性を取り入れた。

また、この対抗馬となっているリコーとの比較もしてみる。リコーのオフィス用カラープリンタでは、本体価格 368 万、速度は A4 フルカラーで毎分 55 枚と、値段はほぼ同じで、印刷速度にかなりの差が出てくることが分かる。

#### ・ムサシ (7521)

選挙システムの開発を行っている。これによって、長時間かかる選挙の集計などの時間を短縮することができる。

選挙システムの開発において、投票用紙計数機のテラック EL-21 では、標準 B7 サイズの投票用紙の 1 分間に 1500 枚を集計することができ、選挙の集計を高速化することができる。また、ハード面だけでなく、ソフト面での開票集計システムや、投票管理システムも開発している。

#### ・シチズン時計 (7762)

アンケート結果より選考。時間の管理に欠かせない時計を販売している。時間を常に正確に知ることができる電波時計なども販売。時計製造の同業種大手に、セイコーもあり、ポートフォリオの候補にあがったが、最近エプソンと合併し、プリンタが主軸となったため、専門性の高いシチズンを選択した。また、プリンタの分野は、理想科学工業がポートフォリオに入っていたため、同業種をなるべく入れないという方針で、シチズン時計を選んだ。

#### ・三菱 UFJ フィナンシャルグループ (8306)

アンケート結果より選考。ネットバンキングの普及により、自宅にいながら預金状況を見ることができる。新規に合併した企業で、さらに企業の規模が拡大された。サービス面から見ても、ほかの大企業よりも質の高いサービスを展開している。また、コンビニなどでの ATM も各地で展開されており、より利便性が増している。

#### ・東日本旅客鉄道 (9020)

移動手段としては、鉄道がもっとも確実であり、移動時間も正確に管理されているため、計画的な時間管理に利用することができる。

ここで、先ほどのアンケート Q4 分析結果と、実際のサービスとの利用でのつりあいを調べてみる。



東京 新大阪間 移動手段別比較	運賃（片道）	所要時間
新幹線のぞみ利用（自由席）	13,240 円	2 時間 30 分
高速バス利用（JR バス関東）	8,610 円	約 10 時間
差分	4,630 円	7 時間 30 分

この結果で見ると、移動時間が 7 時間 30 分短縮させることに必要な金額は 4,630 円ということになり、1 時間短縮に約 617 円必要ということになる。アンケート Q4 結果では、1 時間の時間価値が 2290.5 円という結果になったことからこのサービスは十分に成立可能であるといえる。

また、同業種の銘柄として、東京・成田間の京成スカイラインを運営している京成電鉄も候補にあがったが、東日本旅客鉄道のほうが広く利用されており、安定性も優れているため、京成電鉄を外し、ポートフォリオを組んだ。

#### ・ヤマトホールディングス（9064）

アンケート結果より選考。昔と比べ、荷物の配達時間も格段に短縮され、より早いサービスが展開されている。

また、到着時間を指定できる時間帯指定サービスや、自宅に配達物を受け取りに来て、さらに到着時間も指定できるというタイムサービス、夜に荷物を出し、翌朝には届くという、現在日本最速の配達時間を誇る超速宅急便などのサービスを行っており、時間管理に非常に有効的である。

#### ・全日本空輸（9202）

長距離の移動手段としては空輸が最も時間のかからないものである。日本航空でなく、全日本空輸を選考した理由としては、全日本空輸は国内線を主流とし、貨物便にも力を入れているためである。また、最近では、信頼性も日本航空を抜いて 1 位になっている。

#### ・エヌ・ティ・ティ・ドコモ（9437）

すでに携帯電話は、ビジネスの時間管理には欠かせないものとなっている。

その中でも、ドコモは大きなブランド力を持っており、安定性がある。また、海外でも携帯が使えるサービスや、様々な料金割引なども展開している。

#### 【時間にゆとりを持つために】

ここから以下 6 銘柄は、時間を「短縮する」という観点ではなく、**生活の質を高める**という観点で選考した。

#### ・東レ（3402）

東レの場合は、家庭用浄水器「トレビーノ」や、世界最高水準にある機能膜利用技術をもとに開発された工業用・医療用純粋装置「トレピュア」などの販売を行っており、普段の生活を、質の高い時間とすることができる。また、医薬品・医療機器などの開発もおこなっており、社会全体の生活の質を高めるということに貢献している。

#### ・エスエス製薬（4537）

風邪薬や睡眠改善薬を製造しており、日々の生活を、健康で安定した質の高いものにすることができるとともに、また、コンビニでの医薬品の販売も解禁され、時間の短縮という面から見ても有効である。

#### ・ダイキン工業（6367）

質の高いルームエアコンや空気清浄機の販売を行っており、東レと同じように、普段の生活を質の高いものとするところまでできる。また、家庭用だけでなく、店舗・オフィス向けのエアコンなども開発している。また、海外への輸出割合も非常に高く、国内だけでなく、海外での大規模展開も見せる。

#### ・バンダイナムコホールディングス（7832）

バンダイナムコホールディングスでは、障害者や高齢者のための福祉活動を行っており、そういった活動が、健常者だけでなく障害者や高齢者の時間も、有意義な時間とすることができる。

#### ・東京ドーム（9681）

東京ドーム自体の経営だけではなく、温泉リゾート LaQua の経営を行っている。これによって、東京都内にいながら、温泉を利用することができ、ゆったりとした時間を過ごすことができる。

#### ・近畿日本ツーリスト（9726）

余った時間を利用して、ゆったりとした旅行をすることによって、日々の疲れを癒すことができる。また、個人での旅行とは違い、旅行日程や宿泊先の予約なども事前に組まれているため、利用者の負担が少ない。

## 5.まとめ

#### ・現在の時間意識

文化祭で集計したアンケートからも分かるように、現在でもすでに時間に対する価値や必要性は、非常に高いものとなっていることが分かる。そういった中で、最近では質の高い時間を求める傾向や、時間を有意義に使うなどの意識の高まりもあり、ただ早いだけのサービスでは追いつけないという側面も持っている。しかし、早い時間を求める意識のほうが強く、これからは時間意識は高まっていくということが予想される。

#### ・時間と経済の関係

レポートを作成する上で、時間について色々と調べた結果、やはり年が増すごとに、時間に対する意識や必要性が高まっているという結論に至った。その背景には、経済の成長があり、経済が成長すればするほど、人々の時間に対する必要意識が高まっていくという傾向にあると考えられる。そういった傾向の中で、この時間を商品とした経済活動は、非常に有効的であり、これからは今以上に必要とされてくる分野であると思う。

#### ・今後の時間市場

今後は、技術も進歩し、今以上に時間にこだわった商品やサービスが出現してくると思う。時間に対

してのニーズも増していくと思うが、それだけではなく、やはり何度も述べているように、質の高い時間というものも重要視されていくことが考えられる。そういった変化の中で、企業は敏感に世間の意識をとらえ、適切なサービス展開を行っていく必要がある。しかし、いくら時間が大切だとはいっても、安全面など、時間以上に大切なものもあると思うので、これからの企業には、時間だけを見ずに、そういったこともしっかりと捕らえてほしいと思う。

## 6. 長期保有の有効性について～2003年度ストックリーグ提出レポートより

次に、我々が2年前にストックリーグで提出したレポートをもとに、長期保有の有効性について見ていきたい。

【参考】2003年度日経ストックリーグ提出レポート(テーマ:色々なおまけ～得した気分になる商品～)

### ・購入銘柄

コード	銘柄	購入金額	備考
2875	東洋水産	400,000	
2702	日本マクドナルドホールディングス	400,000	
2914	日本たばこ産業	400,000	
2580	コカ・コーラ セントラル ジャパン	400,000	
2897	日清食品	400,000	
7969	タカラ	400,000	
7867	トミー	400,000	株式分割あり2005/09/27[1:2]
2593	伊藤園	400,000	
4519	中外製薬	500,000	
4655	NOVA	500,000	株式分割あり2005/07/4[1:2]
2206	江崎グリコ	400,000	
7967	バンダイ	400,000	ナムコと合併したため、計算不可

### ・利益計算結果

コード	2003/12/1単価	取得株数	購入金額	2005/12/1単価	最終株数	評価額	利益
2875	1,092	366	399,672	1,944	366	711,504	311,832
2702	2,000	200	400,000	2,040	200	408,000	8,000
2914	755,000	0.5	400,000	1,660,000	0.5	830,000	430,000
2580	668,000	0.6	400,000	991,000	0.6	593,413	193,413
2897	2,615	152	397,480	3,310	152	503,120	105,640
7969	622	643	399,946	404	643	259,772	-140,174
7867	1,510	264	398,640	1,075	528	567,600	168,960
2593	4,250	94	399,500	5,880	94	552,720	153,220
4519	1,560	320	499,200	2,765	320	884,800	385,600
4655	360	1,388	499,680	230	2,776	638,480	138,800
2206	706	566	399,596	1,241	566	702,406	302,810
7967	バンダイナムコホールディングスに合併のため計算不可						
	計		4,593,714	計		6,651,815	2,058,101

### 【考察】

保有期間	2年
利益	2,058,101円
増加率	約1.45倍
2003/12/1日経平均	10,403.27円
2005/12/1日経平均	15,130.50円
日経平均増加率	約1.45倍

2年前に比べると、現在では日経平均も上がっているという要素もあるが、利益は約200万円と、かなり良い結果となった。また、増加した額も日経平均とほぼ同じだったため、投資のリスクとしても非常に安定しているといえる。若干下がった銘柄もあったが、分散投資をすることによって、そういった銘柄の損益も緩和することができた。また、保有する期間が長くなればなるほど、株価推移の傾向などもつかむことができ、ローリスクな投資を行うことができるということがわかった。

長期保有とは正反対のデイトレードという投資方法もあるが、リスクも高く、本来の投資目的とは大きく外れてしまう。それと比較して、長期保有では企業の成長を見守るという株式本来の目的も実現でき、短期投資よりもより効果的で、本来の目的に沿った投資が行える。しかし、長期保有によって必ずしも安定した株価が得られるとは限らないため、事前に十分な調査を行い、慎重に銘柄選考を行うことが必要である。

また、3年間株式についての勉強をしてきた上で、投資方法の安定性の重要性を改めて実感したため、今年はそれを生かして今回の投資額の分配方法を、2年前の同額投資から、比率を計算して、損益が安定するように投資金額を決定するという方法をとった。これによって、投資のリスクもより安定したものとすることができた。

## 7. 感想

今回、自分たちは生活の中で時間に追われるようになったということから、経済の中での時間ということに興味を持ち、このテーマで研究を行ってきたが、色々と調べていくと、当初予想していた以上にこの時間市場というものには奥の深いものであった。自分たちの思っていた以上に、時間に力を入れている企業もあり、驚く場面もあり、そんな中で、時間は早いということだけではないということに気付き、質の高い時間ということでポートフォリオを組み直した。しかし、この質の高い時間を提供するサービスというものを挙げてみると、分野であれば色々と想像することができるが、企業名となると、なかなか上場している銘柄がなく、ポートフォリオの中でも少ない割合となってしまった。しかし、この時間のニーズも徐々に高まっており、そういったサービスは今後どんどん増えていくと思う。

このテーマでレポート作成を行っていったことによって、当初の予想以上に時間と経済というものには、密接な関係があることに気付いた。そういった中で経済が発達していけば時間のニーズも高まっていき、この産業もさらに発展していくのではないかと思う。

今回の調査で、時間を売りにした商品やサービスはたくさん存在し、これからも拡大を続けていく可能性があるということが分かったが、ただ時間のみこだわりのではなく、特に陸運や空運などでは、安全面ということをお忘れてはならないと思う。